



小中学生のレベル向上を!!

JR東日本東北野球部野球教室

12月15日、益岡公園野球場で市野球協会と市少年野球協会の主催の、JR東日本東北野球部の選手による野球教室が開催されました。

JR東日本東北野球部は、社会人野球全日本選手権でベスト4となる強豪。今にも雪が降りそうな寒さの中、参加した約150名の小中学生たちは、日本でトップクラスの野球チームの皆さんから熱心な指導を受け、寒さも忘れて守備や打撃などの練習に打ち込んでいました。



▲捕手の送球指導を受ける中学生

市民の安全と財産を守るために!

平成20年白石市消防出初式

1月6日、毎年恒例となった消防出初式が、ホワイトキューブで開催され、620名の消防団員の皆さんによる点検作業など、日ごろの訓練の成果を披露しました。



▲団長訓示を聞く団員の皆さん

また、4つの市立保育園の幼年消防クラブの園児たちによる「防火の誓い」や、消防団伝統階子乗り隊の素晴らしい演技も披露されました。

式典終了後には、消防団の小型動力ポンプ積載車68台による大パレードで出初式を締めくくりました。

子どもたちと共に環境浄化を!!

EMの勉強会

12月20日、いきいきプラザで市地域婦人団体連絡協議会の皆さんが、EMの勉強会を開催しました。



▲米のとぎ汁でEM発酵液を作る講習

EMとは、日常生活に役立つ微生物群。本来は土壌改良用として開発されましたが、水の浄化や生ごみミの肥料化などにも役立つと注目されています。角田市の小中学校でプール清掃にEMを活用しており、市婦人会でも市内小中学校での活用を目指して、今後も勉強会を続けていくことにしています。

健やかな成長を願って!!

薬物乱用防止教室

12月6日、白石第二小学校で「薬物乱用防止教室」が開催されました。この教室は、白石益岡ライオンズクラブの青少年健全育成事業の一つとして、市内の小学5・6年生を対象に開催されています。会員の富岡歯科医院長、富岡和弘さんが講師となり、「有害薬物の恐ろしさ」と「断る勇気の意味」を説明しました。

今後は、児童たちから薬物乱用防止のポスターを募集するなど、さらに活動を広げていく予定です。



▲スライドとビデオで分かりやすく説明

楽しくリサイクルを体験!

小学生がリサイクルはがき作りを体験

第一小学校で12月中旬に、使わなくなったチラシからはがきを作るリサイクル教室が学年ごとに行われました。この教室は、子どもたちにリサイクルの大切さを学んでもらおうと行われたもので、出来上がったはがきは、交通安全を呼び掛ける「さくらメール」に使われることになっています。12月10日は、6年生が体験。いきいきプラザの職員の説明を受けながら、楽しくはがき作りに取り組んでいました。



▲はがき作りに取り組む児童たち

環境問題の大切さを知って

白石蔵王エコフォーラムの出張環境講座

本市と蔵王町の国際環境規格取得企業8社でつくる白石蔵王エコフォーラムが、12月14日に大鷹沢小学校で出張環境講座を開催しました。



▲酸性雨の説明を受ける児童たち

同フォーラムでは、環境問題の深刻さを子どもたちに伝えようと、小学校などで出張環境講座を開催しており、昨年も第一小学校や白川小学校で実施しています。この日は、同小学校の3・4年生など約50名が参加。酸性雨や発電体験コーナーなどで環境問題の大切さを学びました。

白石城一周元旦マラソン

(1月1日、白石城周辺)

白石高校陸上競技部OB会が主催する恒例の元旦マラソン。今年も、同校のOBや家族連れなど約60名が参加し、一周2.5キロのコースを走り抜け、全員が完走しました。



▲元旦を気持ちよく走り抜く参加者

白石サッカー協会「けり初め」

(1月1日、白石高校第二グラウンド)

今年で40回目を迎える白石サッカー協会主催の「けり初め」。子どもから大人まで40名が参加し、雪で悪戦苦闘しながらも、全員でボールを追いかけていました。



▲世代を超えてサッカーを楽しみました

やまぶき園利用者と地元の皆さんの交流

(12月13日、やまぶき園)

今年で11回目を迎えた、園利用者と地元南町の自治会員でつくる「ボランティアみなみの会」の皆さんの交流会。歌やゲームなどで楽しいひとときを過ごしました。



▲楽しく交流する参加者の皆さん

今年「子年」です。子年は十二支の一番目であり、動物ですと「鼠」が当てられます。そのネズミと日本人のかかわりは古く、「古事記」にも記述があり、弥生時代に米などを納めた高床式倉庫には、ネズミの侵入を防ぐ「ネズミ返し」なる仕掛けがあったようです。ネズミと言え、私にとってなじみ深いのはテレビアニメ「トムとジェリー」のジェリーでしょう。害獣扱いされているネズミでも、その小さい容姿や愛らしい動きから、親しみを感ずるのかわりません。そういえば世界中で愛されている「ミッキーマウス」もネズミでしたね。実際のネズミは、世界中に約1千種類もいるそうです。

今年の年始も、弥治郎こけし村の「こけし初挽き」に参加しました。

例年通り素晴らしい初挽きでしたが、今年はお天気の都合で、霧の雰囲気が一段と良かったのです。屋根の上や庭には雪が積もり、軒下にはツララが下がり、風に舞う雪がキラキラと輝いていました。寒さの中にも白石の里山の原風景



つちのえね

「戊子」

く、実行委員会が中心となり企画を練っていますので温かい応援をよろしくお願いいたします。こけし初挽きの後、昭和51年度卒業F中学校同窓会にお呼ばれました。さまざまな同窓会に参加させていただきましたが、今回は

に同じクラスだった人などなど。すてきな人々との、新たな出会いを経験させていただきました。さらに、当時担任だった3人の先生方もまた素晴らしい先生方で、F校の団結とバイタリティーを創り上げたのはこの先生方の指導の

い技術と風景、そしてすてきな方々との出会いで始動しました。この喜びが今年もネズミ算式が増えていくような予感がします。『四万人都市復活大作戦』を推し進め、皆さまと共に汗をかき、学び、もの・技を生かし、故郷白石をさらに輝かせるために、みんなで磨いていきましょう。

【12月号の答え】

電話で話し掛けるときの「もしもし」の由来は諸説ありますが、「申します、申します」あるいは「申す、申す」と話し掛けたのが、「もしもし」と変わったという説が最も有力です。

が広がり、懐かしさからなのか、その風景が心に安らぎと癒やしと温かみを与えてくれました。5月に開催される「全日本こけしコンクール」も今年50回を迎えます。半世紀目の節目の大会となります。記念大会にふさわしい開催にすべ

一味違った同窓会でした。それもそのはず、同年のライバル校だった中学校の同窓会です。高校時代の同窓生はいたものの、正直言っても「いざい」感じを覚えたことは確かです。しかし、市内外で活躍している人や、幼稚園の時